



自然災害発生後の家畜衛生対策について

今般の台風襲来により、被害を受けた皆様に心よりお見舞い申し上げます。台風や集中豪雨により大量の雨水が畜舎に侵入して、畜舎の衛生状況が悪化すると、疾病発生リスクが高まります。引き続き飼養衛生管理基準を守るため下記の点を見直しましょう。また、災害時には家畜もストレスを受けています。健康観察を注意深く行って健康回復に努めてください。

- ・ 畜舎内に雨水の流入や浸水があれば、直ちに排水・清掃・換気を行うとともに、消石灰等を用いて消毒を行いましょ。
- ・ 畜舎、牧柵、防鳥ネット等に破損、汚染がないかを確認しましょう。
- ・ 病原体を媒介するネズミ、節足動物及び寄生虫等を駆除しましょう。

また、今後の災害に備えるため以下のことに留意しましょう。

畜舎の倒壊を回避するため、点検・補修を定期的に行いましょう。

畜舎が浸水する可能性のある場合、定期的な排水溝の点検・清掃を行いましょ。

急な豪雨がきても家畜の糞尿が流出しないようにしましょ。

敷地に余裕がある場合は、家畜の避難場所を確保しましょ。

日頃使用している最低限の飲水量を給水タンク等に確保しましょ。

停電時の対応を確認しましょ。特に、乳牛では搾乳が滞ると乳房炎のリスクが高まるため、自家発電機による搾乳、生乳冷却について対応できるようにしましょ。

家畜に異状が見られたら、直ちに青森家畜保健衛生所にご連絡ください

電話：017-764-1744 夜間・休日：090-2274-0474